

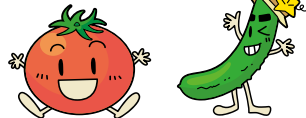
白石の新鮮野菜 う～んとうまいから、食ってみてけらい～ん！ ～白石市農産物直売所連絡協議会は、地産地消を推進します～

白石市農産物直売所連絡協議会では会員を募集しています。市内で直売活動をされている方などで興味のある方は、気軽にお問い合わせください。
☎農林課 ☎22-1253



●7月の人気農産物

ナス、トマト、サヤインゲン、キュウリ、トウモロコシ など



馬牛沼産直センター

毎週火・木・土・日曜日9:00～18:00
●場所 国道4号沿い馬牛沼付近
☎馬牛沼産直センター ☎25-0520



小原いきいき直売所 11月末まで毎日10:00～15:00
営業！（悪天候により休業あり）
新鮮野菜や山野草、手芸品なども取り揃えています。

●場所 小原材木岩公園内
☎小原いきいき直売所 ☎29-2760

羽山朝採り市 毎週土曜日9:00～12:00

これからの季節が旬のナスやトマトなど、その日の朝に収穫したものを販売しています。ぜひご賞味ください！

●場所 犬卒都婆公会堂前
☎佐藤 ☎27-2115

青っ葉市直売所

月1回の「サービスデー」（定期市）を開催中！ 各店とも月初めの販売日に開催！ お買い上げ金額にかかわらずお好きな新鮮野菜1点をサービスします。トウモロコシ、カボチャ、ナスなどの夏野菜はいかがですか？

①ポーチパーク内

毎週水・土曜日9:00～12:00

②本郷店(旧国道113号角田街道踏切そば)

毎週水曜日9:00～12:00

③いきいきプラザ 毎週土曜日9:00～12:00

※スーパービック白石店でも新鮮野菜を販売しています。

☎佐藤 ☎25-8860

小十郎の郷 ～農産物生産者募集中～

年末年始を除いて毎日9:00～18:00営業！

●場所 JAみやぎ仙南白石地区営農センター構内
(福岡長袋字八斗蒔)
☎小十郎の郷 ☎22-0881
http://www.kojuro-sato.com



軽トラ市 毎週金曜日9:00～12:00

●場所 すまゐるひろば
☎四電 ☎29-2451、山田 ☎26-1345

バーバ工愛市

今月のオススメは、旬の野菜のほか、生花、おこわ弁当、漬物、笹巻きなど。

①旧JAみやぎ仙南白石地区事業本部ななめ向かい

(バーバ工愛市のオレンジ色のぼり旗が目印です！)

毎週水曜日9:00～12:00

②JAみやぎ仙南福岡支店構内(旧あぐりハウス白石)

毎週土曜日9:00～12:00

☎JAみやぎ仙南女性部白石地区バーバ工愛市 ☎25-3531

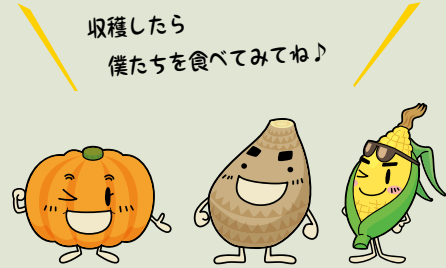
※各直売所では、白石産の新鮮な旬の野菜や花、漬物などを販売しています(直売所により品ぞろえは異なります)。

※白石市農産物直売所連絡協議会加盟店のみ掲載しています。「SSN」は「白石・新鮮・農産物」の略称です。

白石のブランド野菜作りに取り組んでいます！

小十郎の郷では、白石のブランド野菜作りに取り組市中。ブランド名は「白石三白野菜」で、現在、里芋・白イトウモロコシ・白カボチャを育てています。
里芋は「土垂」で、昔から白石で作られていた品種です。
白イトウモロコシは「ピュアホワイト」で、実が白く甘みの強いのが

特徴。白いカボチャは「夢味」で、皮が白く、栗のような食感と甘みがある品種です。
さらに、枝豆も2品種のブランド化に取り組んでいます。「湯あがり娘」は芳香で食感のよい品種で、もう一つの「秘伝豆」はとても甘い品種です。皆さん、それぞれ収穫したらぜひ、ご賞味ください!!



応募方法

1人俳句三句、短歌三首、川柳三句以内（未発表のものに限る）。はがきに作品・住所・氏名・応募する壇名をはっきり書き、〒989-0292 白石市大手町1-1 白石市総務課へ。はがき一枚に短歌、俳句、川柳の併記は不可。
毎月15日締め切り。Eメールでも応募できます。(koho@city.shiroishi.miyagi.jp)

俳壇

評 一首目、病院で亡くなられた後、直行なさったと聞く。「拳握れる」は、握っている意、父御の執念を思っている。
二首目、子どもの日であったか、感慨深くふりかえる。「五蔵」、「二児」と具体的。三首目、老いた自らを詠う。浦島太郎のたとえが明るく響いている。

山家弘子 選

柳壇

評 一句目、患者にとって何より嬉しいのは温かい言葉。「頑張って」というより、本人の心に寄り添い痛みを分かち合う心が。
二句目、少子高齢、人口流失。まるでシュプレヒコールのよう。そんな風潮の中、必死に泳ぐ鯉のぼり。健気な姿に拍手。
三句目、5年前に受けた善意の支援。今こそ返す好機。被災された熊本地方の皆様から心から御見舞い申し上げます。情けは人のためならず。

四電英夫 選

歌壇

岩崎聰之介 選

市民文芸

朝逝きし父を父の田に連れ申す面穩しくも拳握れる 日下由美子
背くらべナオミ五歳と刻まれしあの日の孫も二児の母親 阿部はぎの
白内障の術後見えたる顔のしわ浦島太郎もこんなであったか 菅野ちさよ
アカシアの花咲く頃かふるさとは西田佐知子の歌夢に出づ 山田 演
健やかにあるは嬉しや早くから昇る太陽にわれは手合す 佐藤喜和子
木槌にて一本一本叩きつつ桜のあはひ樹木匠めぐる 寺崎 悦子
朝採りの地場産品の軽トラ市売り手招くすまる広場に 星 彩りうつ
道端の百合と昇り藤とのとり合わせ 佐藤 育男
くし水無月ちかく 大庭美智子
昨日まで固き苔の並木路今日は 一氣にふくらむ 幸夷
前山の緑に映える山吹にほら見えますかと亡母に声掛く 桜井真喜子

評 一句目、蔵王山の消え残った雪が入道の形に見えると、田植えの時期と決めている。その残雪の形をした山が代田に映っている。農家の生活の景が描けた。
二句目、深山に棲んでいる人を訪ねた。八方に獣が入って来ないように頑丈な垣根で囲っている。青葉若葉の風、鳥の囀る声にほととぎすの声。身も心も洗われたのであるう。
三句目、昔は、人が羨むほどの立派なお屋敷であったが、無人になって久しい。広い庭は茫茫と草が生い茂り、所々にあやめが草に隠れるように咲いているのが、何とも哀れとみた作者。

庭いじる老にうれしき余花の雨 高子うぶん
農作業手休みくれし五月雨 菅野ちさよ
部屋までも黄緑に染め柿若葉 岩澤 伍肇
こけし村輓轡の音も薄暑かな 門脇 貞造
子供らの祭り太鼓のほほゑまし 和田 游稀

平成27年度市民文芸年度賞が決定しました

受賞された皆さま、おめでとうございます（敬称略）



国枝館強いばかりじゃ網が泣く
(八月号)



連れ添ってあつという間の五十年
(四月号)



蟬時雨一本杉の墓標かな
(十月号)



お隣さんこころ配りの鶏ももて老いのわたしらメリーク
リスマス (三月号)



暮れてゆく冬の稜線たかくひくく住み処に帰る大蛇と
見ゆる (一月号)

阿部はぎの



門脇貞造



末吉アツ子



桜井真喜子



高橋政男

※別当内信夫様は6月10日にご逝去されました。謹んでご冥福をお祈りいたします。